

タイトル: 認知症サポータースキルアップ研修1回目 <誰もが安心して過ごせる地域づくり>

<狙い/成果> 問題の共有と活動のきっかけ作り

<対象者/人数> 認知症サポーター養成終了者/20人程度	<時間/場所> 13時30分～15時30分まで(2時間)/公民館・保健センター等
---------------------------------	---

No.	時間	狙い/目標	活動内容/問い	場の設定
1	13時30分～13時45分 (15分間)	導入: 趣旨を理解する 話しやすい雰囲気を作る	・趣旨説明(主催者説明・次項の説明含め5分) ・グループ自己紹介 (ヒント:隣の人の名前や気になる事を聞いて紹介)	席はアイランド 1G 5・6人 4G形成 マイク 事前に名札を胸に
2	13時45分～13時55分 (10分間)	インプット:体験型スライド 問題を提起し必要な情報を共有する	<こんなことは地域で見かけませんか?> ①認知症の現状と将来(行政に頼れない) ②地域でのケアについて(地域診断、ケアパス等) ③地域で見られる偏見等の現実を紹介(漫画を活用)	【標準資料提示】 プロジェクター 配布資料:ケアパス・使える資源資料
3	13時55分～14時10分 (15分間)	グループの形勢: 感想を共有する	<スライドを見てどう思ったかを話し合う。>見かけた事、認知症。 ・同じような状況を地域で見かけたこと体験した事ありますか? ・認知症のイメージについて話し合う	最初の3分各自で記入 発表しながら張り付ける 最後の3分2G程度発表
4	14時10分～14時15分 (5分)	役割期待の提示	<認知症サポーターに期待される事> ・認知症サポーター養成意義概要説明	【標準資料提示】 プロジェクター
5	14時15分～14時50分 (35分)	解決策発散	<認知症になっても安心して過ごせるためには何が必要?> ・役割分担(司会、発表者) ・問:認知症になっても安心して過ごせるために何が必要か? ・付箋で自由に書いて模造紙に張り付ける。	ファシリテーター:包括 最初の3分各自記入 付箋・模造紙・ペン
6	14時50分～14時55分 (5分間)	成功ビジョンの共有	・明るい未来体験(ビデオ) ・綾川町の活動している人と支援を受ける人の”笑顔””声”	【ビデオ提示】 プロジェクター
7	14時55分～15時10分 (15分)	意思決定	<さあー！ 頑張りましょう!!> ・明日からできること、やれそうなこと ・重要性、取り組みやすさの二次元展開でまとめ	付箋・模造紙・ペン
8	15時10分～15時25分 (15分)	振り返り 目標共有	・各グループ発表	4G形成として 3分/1G マイク
9	15時25分～15時30分 (5分)	クロージング	・次回の予定を確認して次につなげる。	

注: G=グループ